



## ひきこもり相談支援室、居場所支援がスタート 支援のネットワーク化に向け地域資源ガイド発行

長岡市は今年度、ひきこもりの相談窓口および支援の主軸となる組織「ひきこもり相談支援室」を開設、これまでに多くの相談がありました。相談者の多くはひきこもり当事者の家族や親族で、いままでどこに支援を求めてよいか分からず、悩みを自分たちの中だけに抱え、当事者も含めて孤立しがちであることが分かりました。

こうしたことをふまえ、社会とつながる接点やよりどころが身近にあることを知ってもらい、現状から一步踏み出すためのツールとして、相談先や支援機関、当事者や家族の思いを共有できる自助グループなどをまとめた「ひきこもり支援の地域資源ガイド」を発行します。

ひきこもり支援には、多様な支援の選択肢と粘り強い取り組みが求められます。今後も総合的かつ多面的な視点で取り組みを進めてまいります。

### 1 ひきこもり相談支援室について

- 令和6年4月1日、社会福祉センター「トモシア」2階に開設。
- 室長1名、保健師3名、事務職3名（いずれも兼職）、専任のひきこもり支援コーディネーター（会計年度任用職員）1名の体制
- 5月23日時点で、相談受付 のべ55件（実数21件）  
電話34件、来室16件、訪問2件、その他3件  
大部分が家族・親族からの相談
- 名刺サイズのPRカードを市有施設各所で配布中。



PRカード

### 2 居場所支援の取り組みについて

- 令和6年4月より、越路ハイム地域生活支援センター内（長岡市三ツ郷屋2-3-11）に、毎週木曜日午後1時～午後4時に開設中。愛称「こんぺいとう」。詳細は別添資料のとおり。
- 社会医療法人崇徳会 越路ハイム地域生活支援センターに運営を委託。
- 開所して間もないためまだ利用実績はありませんが、ひきこもり相談支援室に相談のあった家族に居場所として橋渡しをするなど、お互いの連携を図ります。

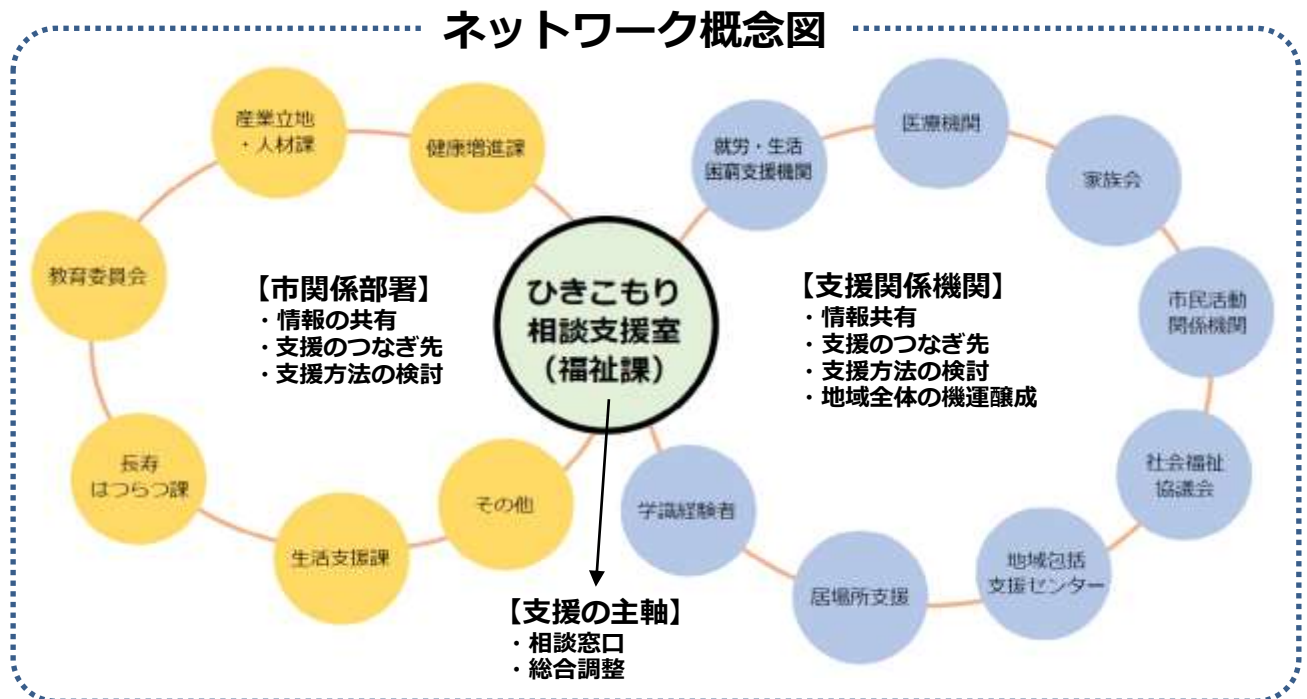
### 3 「ひきこもり支援の地域資源ガイド」

内容：公的機関、支援機関、家族会などの概要を掲載（別添資料のとおり）

配付方法：現場で支援を必要としている方の手に渡るよう、地域包括支援センター、民生委員、パーソナルサポートセンター、福祉相談事業所などに配布。また、市内の図書館、コミセンなどの公共施設に配置するほか、市ホームページにも掲載。

### 4 今後の取り組み

今年度中に、ガイドに掲載されている機関、団体を中心として、ひきこもり支援のための官民ネットワークを構築予定。ひきこもり当事者が、社会と再びつながるための「誘因」「きっかけ」となる支援方法（例：ボランティア活動や地域活動への参加、柔軟な就労形態など）を検討してまいります。



問い合わせ  
福祉課 山田 TEL 0258-39-2343